



県教委は現場の教職員を守らないのか!

希望者は継続任用せよ!

佐賀県、京都府は継続任用する。愛知もできるはずだ!

超・怒り心頭! 退職金問題

すでに全国的な話題となった退職金削減問題が、身近な問題として職場に混乱を招いています。そもそも愛知県が年度途中の3月に退職金削減を強行決定したことが原因です。制度上の問題であるにもかかわらず、2月末に退職する教員が「150万円欲しいがために子どもたちを見捨てたかのような報道をされたり、そのような印象をもたれたりしては心外です。知教労・愛教労はこの間、何度もマスコミや県教委に抗議をしました。そもそも3月まで働いても退職金を減らされるのは納得できないし、2月末で退職を決意しても最後まで子どもたちを見届けれなかったという悔いが残ります。いずれにしろ長年愛知の教育のために尽くしてきた教職員には後味の悪い幕引きとなってしまいます。

県教委からの「脅し」メール

県教委は、定年退職を迎える方に対して、年度末まで働くよう慰留に努めるようにと校長にメールを送りました。また、本来は退職の2週間前までの報告でよいものを2月7日までに所属長に退職願を出すよう連絡しています。残り一ヶ月、しかも一年の締めくくりに時期であることから「辞められないだろう」という教員の良心を踏

み台にした暴挙です。また、退職者本人から3月の1ヶ月の間講師等で任用してほしいという申し出があっても任用しないと、ボランティアも認めないと伝えています。さらに、「再任用の配置については、3月31日定年まで勤務した者の希望を優先すること、校長だけが見ることでできる」と、メールサイトで伝えてあります。まさに、2月で辞めた者は再任用しない、あるいは不利になるかのようにも取れる「脅し」です。現に一宮市では2月末で退職を希望した職員に対して執拗に「再任用辞退届」を書けと迫った校長がいます。断じて許せないことです。

一方、2月末で退職する先生の替わりの職務を現役の先生にかぶせてしまうことは労働強化に繋がります。安易に校内で「何とかしてしまおう」のはそれはまたそれで県教委の思うつぼです。県教委は講師等を派遣すると言っているのに、やってみたら数週間だけの講師が果たして見つかるとはどうか。子どもたちの学習の権利と教職員の生活の権利を守るために、2月末で退職しても、3月はそのまま



同じ人が臨時的任用で最後まで職務を全うできるよう県教委は、最大の努力をして混乱を回避させるべきです。

県教委は 管理統制機関か!?

先月の知教労ニュースで記載したように、教職員評価についても「評価シート未提出者を報告せよ」「その未提出者が再任用を希望しているかどうかも報告せよ」と教職員評価を「支配の道具」にするかのような動きもありました。

県教委は、我々現場の教職員を管理統制し、意に沿わない者には脅しをかけて従わせる、そのような輪郭が見えてきます。

北から南から ~支部だより~

半田市では、市内の各学校が取り組んでいる体力増強運動の発表の場として「ごんごん駅伝大会」が行われた。小学1年生から中学3年生までの児童・生徒が参加し、小学校区対抗でタスキをつなぎます。

第1回大会が開催されたのは昨年12月21日の午後・・・運営に携わった教員は、終業式が終ってホッとすする間もなく児童・生徒を引率して陸上競技場に向かい大会の運営を行った。多くの保護者や地域の方々競技場に駆けつけ、横断幕やうちわを使った応援で参加選手を元気づけている姿が印象的であった。

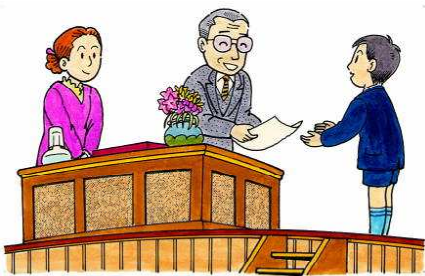
大会の趣旨は、児童生徒の体力向上・健康増進に向けた「幼保小中一貫教育」と「南吉生誕百年記念事業」の2つが実現できる行事とされている。この大会を運営するにあたって多くの教員や市の職員が、多忙な公務の中で時間と労と費やしたことは言うまでもない。中には大会の費用を実費で負担した方もみえたという話も聞いている。他のマラソン大会が開催されている中で、さらにもう一つ大会を増やした意味はあるのだろうか (I)



2月28日まで抗議する!

長野県・山形県では減額開始時期を3月1日から4月1日に変更しました。変更は可能なのです。たとえ愛知のような政策のままであっても、知教労・愛教労は2月28日最後まで継続採用を求めて県教委に訴えます。

万が一、知多管内で不当な扱いを受けたようなことがあれば、知教労までお知らせ下さい。



みんなの目

(東北の旅から②) 昨年十二月に行われた「愛教労平和と歴史の旅」に参加して、前号では福島放射能の被害の過酷な状況について報告した。今回は、宮城の津波による被害について、見て感じたことを伝えられればと思う

▼福島から移動し、一日目の夜は奥松島の美しい海が見える民宿に宿泊した。ここにも水が入ったが、何とか修復して再開したとのこと。その民宿の前には、工事現場のようなプレハブの仮設住宅が並び、寒々と雪が積もっていた。もう二年になるうとするのに、こんな住宅にまだ住まなくてはいけない人たちがたくさんいるのだ。翌日の朝、宿の周りを歩いたが、海のすぐそばの家々があつたところは何にもなくなっていた▼二日目は宮城県教組の石巻市立北村小学校の石垣さんの案内で、大川小、雄勝小、雄勝病院など被害の大きかった石巻市から南三陸町志津川を廻った▼児童の約7割の74人が犠牲となった大川小は北上川から近く、裏には急な斜面の山が迫っていた。もし自分がこの学校の教師だったらどうしただろう。教師の思いと保護者の思いが重なり立ちすくむ。石垣さんは「先人の教えを生かさず、この場所に学校を建てたことが問われる」と話された▼元は市街地であったという何もない海岸沿い、時々見えるガレキの山、廃墟となった幾つもの学校、病院：子どもたちや人々の日々の営みが思い浮かび胸が詰まった▼ここでも復興には程遠い現地の様子を目の当たりにし、この国の行政の貧困さに腹が立った。私たちにできることは?被災地が復興するまで、苦しんでいる人々がいることを忘れないこと、この震災の教訓を私たち一人一人が生かすこと：組合ならではの深く考えさせられる旅となった。(H)

データで見る教員の実態 第35回 『47位』

教育費の削減により、学校の消耗品費などが削減される市町が増えていますが、皆さんの勤務する自治体ではどうでしょうか。さて、表題の数字ですが、「平成22年度における児童・生徒1人当たりの教育費全国順位(教員給与含)」を「平成23年度地方教育費調査」として愛知県がまとめたものです。以前2010年の10月号でお伝えしたこともあります。情けないことに毎年のように低空飛行で、この年はとうとう全国最下位になって

しまいました。全国平均よりも小学校で15万円、中学校で21万円も違います。

(年度)	15	16	17	18	19	20	21	22
小学校順位	42	42	40	42	43	43	43	47
中学校順位	45	46	41	44	44	46	45	47

「1学級当たり教育費」でも小学校が43位、中学校が46位です。全国平均と比べると小学校で212万円、中学校で427万円も違うのです。

他県に比べると比較的豊かな愛知県が、財政上の割合ではなくて実質の教育費で全国最低とは。教育にお金をかけることの大切さを考えてないのでしょうか。こんなふうだから、定年までまじめに働く人が150万円も損をする政策をとっても平気なのでしょう。「消費的支出のうち本務教員の給与については、21会計年度に引き続き22会計年度も全国平均を下回った。」という記述もあります。来年度も給与の3%削減が決まっています。(愛知県HP)

大村知事が教育を軽視していることが明らかにわかります。

知ってるつもり・Q&A

特別支援学級の学級編成は？

Q 勤務校の特別支援学級には、7名の児童が1学級に在籍しています。6名の在籍児童でも2学級編成の学校や12名で3学級という例もあります。このように、複数学級がある場合は、障害種別ごとに学級が設置されているからなのでしょうか。

A 特別支援学級の児童・生徒数の1学級の定員は8名です。したがって、6名で2学級編成されている場合は、障害種別が異なった学級になります。特別支援学級の障害種別には、知的障害、自閉症・情緒障害、聴覚障害、視覚障害などさまざまあります。

また、ご質問のように12名の在籍で3学級編成という場合、必ずしも3種類の障害種別の設置とは限りません。一例として、ある学校の知的障害の学級に8名、情緒障害の学級に3名が在籍していたとしましょう。次年度、知的障害の学級に新たに1名が入級すると9名になるので、知的障害の学級は2学級編成になります。それに3名在籍の情緒障害学級を合わせて12名で3学級編成ということになります。もちろん、障害種別の異なる学級が3学級開設されることもあります。

全国的に児童・生徒数は減少傾向にありますが、特別支援学級に在籍する児童・生徒数は増加傾向にあります。これは、特性に応じた指導で能力を伸ばすという考えが広がってきているからだと考えられています。

